

A 發料の延滞故 分割私選対及対 B 發料仕下絶対及対 C 不当解雇絶対及対  
 諸君は完全K 賜書と水大望の温懐を義の からくりと知悉しく見りしら 高重役共の留  
 K 遺文の漢と垂水て依り然りんとするか 諸君ト、 須らく正義人道の勇士を水  
 昭和五年六月ニザラリ

星梨菜邊社自股盟本部

争議日報

第二十三号  
 一五三〇、六二二

新田 たる 電信を以て  
 勝利へ突進せよ

一介の密観(的)状勢は  
 登、有利に展業してあるゾ

争議勃発以来廿五日 団員の高気は  
 節が古く其より 彼等はビクーな程の堅固を  
 示しある、更りに在りし地方の各工場は完全  
 可工代を而して争議を決議し 解有る  
 対 賃報位ト 互対をスワカ ンとして  
 演之しと 演習せよと 一つある 高又 分社  
 争議の持久戦に入ると共に 傍取看は 備  
 と 即時ス 拂へと 分社に 転倒し、あるので 今  
 や 之を 通り 取地は 陥り ための 望、ある  
 勇人の 金融をつりこむた、一流の 甘ん  
 服力、等々 其に 五、トリ、の 公(自)

にあわんとしてその財及下る 欠ける度  
 汎なりで 財争の大恐慌を 憂也一、  
 ある、かく一、形勢は 争議 有  
 利な形勢を 示し、ある、た。

彼らも 彼々の 絶対的 勝利を 確信  
 して、其に入 彼々の 勝敗に 大は 注目  
 して、ある、金子、労働者 果ての 期待、  
 力と、高の、絶対的に 彼等は 決然の 勢  
 力と、以て 勝利の 途に 突進し、なり、んば、なら  
 一介の 密観(的)状勢は 登、有利に 展業して ある、ゾ

争議 徹するまで日  
 能くまで ガンバレ  
 天孫 奪還の 悲壮なる 決意

今日 干渉に 対、天孫 奪還の 悲壮なる 決意  
 視、風潮 争議と 合見し、こゝに なる、た